

【レジメン】

day 1

③アリムタ 500mg/m²

day 1

⑤カルボプラチン AUC=4・5・6

カルボプラチン投与量=AUC x(Ccr xBSA/1.48+25)

※カルボプラチンの最大投与量はAUC×150までとすること。

AUC	2	3	4	5	6
最大投与量(mg)	300	450	600	750	900

Cockcroft-Gault式

$$Ccr(mL/min) = (140 - \text{年齢}) \times \frac{\text{体重}(kg)}{72} \times \frac{1}{Scr(mg/dL)}$$

女性の場合、Ccrに0.85をかける。

day 1

⑦アバスチン 15mg/kg

day 2~21

休薬

上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	
	<input type="checkbox"/> ② デキサート6mg+ アロキシバッグ50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ③ アリムタ() mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。	10分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤ カルボプラチン() mg+ 5%ブドウ糖液250mL	点滴	治療薬です。	60分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑦ アバスチン() mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 ※BVの投与速度は下記参照	90・60・30分
	<input type="checkbox"/> ⑧ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です	朝食後
	<input type="checkbox"/> ③ デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です	夕食後
day3 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です	朝食後
	<input type="checkbox"/> ③ デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です	夕食後

※アバスチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

【化学療法に関わる指示】

- ・葉酸1日1回0.5mgを毎日服用（パンピタン1g）（アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで）
- ・ビタミンB12 1回1mg（フレスミンS 1A）を筋肉注射（アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで9週間毎）

嘔気時：□メトクロプラミド() A 静注およびデキサート() mg 静注 ※配合変化のため混合しない
上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服（1日1回のみ使用可）※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□メトクロプラミド1A静注

□コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド（注射・錠剤）とH2ブロッカー（注射）またはPPI（注射）は原則併用禁忌です。